市会調査報告

タック通信 Vol.10

公明党横浜市会議員団政務調査会
旭代表 横浜市会議員
和田（わだ） 卓生（たくお）

横浜市の借金

市税返済分は、7年間で5400億円の減少

横浜市の借金は、市債と借入金です。一般会計・特別会計・企業会計を合計した全会計の市債残高は、平成22年3月末時点で、前年度に比べ、389億円減少していますが、一般会計の市債残高は121億円、特別会計の市債残高は144億円増加しています。（グラフ①）

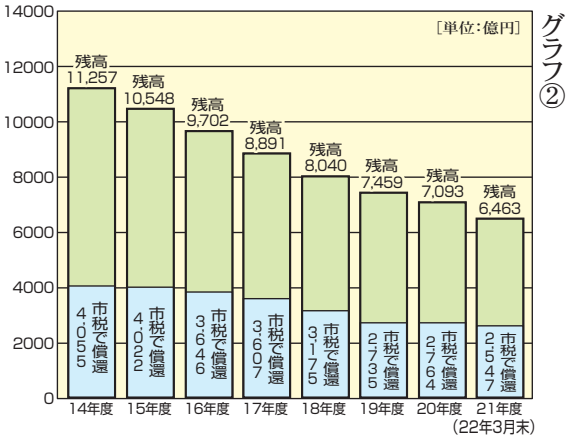
一方、利用料金などで返済する分を除いた主に市税で返済すべき横浜市の借金残高は、平成14年と比べると、市債で3939億円減少し（グラフ①）、外郭団体の借入金で1503億円減少し（グラフ②）、両方を合計すると、7年間で5447億円減少しています。

これは平成9年度より、市債発行額を毎年5～12％削減し、外郭団体の事業も縮小してきたからです。

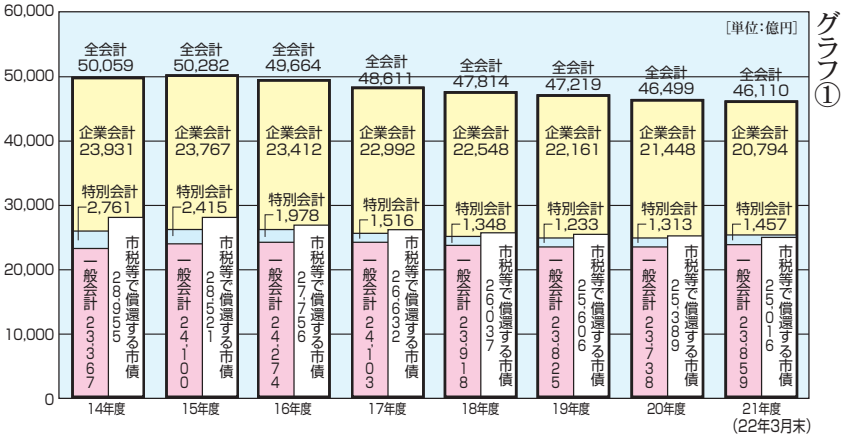
横浜市の経営を考えるうえでは、借金のうち市税で返済するものについて注視していくことが重要ですが、昨年度から市債発行を増額する傾向が見られます。

将来の負担となる借金を増やさないためには、毎年の市債発行額を返済額以下に留める必要があります。しっかり監視をしてまいります。

外郭団体借入金残高と市税等で償還すべき外郭団体借入金残高　グラフ②



全会計（一般会計・特別会計・企業会計）の市債残高と市税等で償還する市債残高　グラフ①

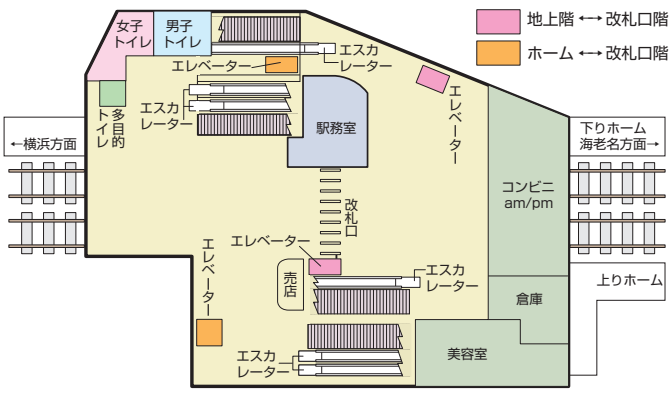


「希望が丘駅」にエレベーターが設置されます

希望が丘駅にエレベーターを設置する工事が、9月から始まります。

従来から、希望が丘駅のバリアフリーについて、エスカレーターとともにエレベーターを設置してもらいたいという声が駅利用者にありました。私も、駅利用者の声を受け、希望が丘駅のバリアフリー化の時から、エレベーターの設置を相模鉄道にお願いしてきました。しかし、エレベーター設置のスペースがないということでなかなか実現できませんでした。

今回、相模鉄道では、一部のエスカレーターを廃止することによりエレベーター設置のスペースを確保しました。これで、車いす利用者やベビーカーのお子さん連れも、希望が丘駅の利用がとても楽になります。

工事期間は、駅を利用しながらの工事のため、約一年かかります。早ければ、来年夏にはエレベーターが利用できるようになります。

■希望ヶ丘駅間取り図